

北九州イノベーションギャラリー 秋の特別企画展

山川健次郎と藤田哲也

～工学教育の先駆者と竜巻研究の開拓者～



時代を拓いたのは、挑戦する力だった。
真理を追求し続けた二人の生き方に、人材育成とイノベーションのヒントがある。

山川健次郎

1854年(安政元)～1931年(昭和6)

藤田哲也

1920年(大正9)～1998年(平成10)

開学当時の
明治専門学校本館模型

藤田は、山川が創った明専で学び、
山川が礎を築いた東大気象学教室で
理学博士号を取得した。

2014.9.27(土) ▶ 10.19(日)

北九州イノベーションギャラリー「企画展示ギャラリー」

開館時間 9:00～19:00(土・日・祝日は17:00まで)＊入場は閉館の30分前まで

休館日 毎週月曜日 ＊月曜日が祝日の場合は翌日(10月14日(火))

観覧料 一般:300円／大学生・高校生:100円／中学生以下無料

＊団体30名以上は2割引、障害者割引有り

- 主催／北九州市、北九州イノベーションギャラリー
- 後援／福岡県教育委員会、北九州市教育委員会、北九州市PTA協議会、北九州商工会議所、JR九州、西鉄バス北九州(株)
- 協力／九州工業大学、九州大学大学文書館、東京大学、京都大学、米国・イエール大学、西日本工業大学、小倉高校、育徳館高校、福島県立博物館、会津若松市、会津藩校日新館、米国ニューヘイブン・トリニティー教会、山川健次郎顕彰会、藤田哲也博士記念会、明専会、明陵同窓会、日本気象学会、日本気象予報士会、日本洞窟学会、九州朝日放送、いのちのたび博物館、(株)安川電機、北九州総合デザイナー協会、ブラッツ (順不同)

KIGS
北九州イノベーションギャラリー
産業技術保存継承センター
KITAKYUSHU INNOVATION GALLERY & STUDIO

優秀な人材を育成するために、工学教育の土台を築いた教育者・山川健次郎と、
竜巻研究や航空防災の第一人者として、世界が高く評価した“ミスター・トルネード”藤田哲也。
この二人の功績をたどる本企画展で、人材育成とイノベーションを生み出すヒントを得ていただければと思います。



山川健次郎

1854年(安政元)～
1931年(昭和6)

人づくりは国づくり、科学技術立国の礎を築いた教育界の巨星「山川健次郎」。
山川健次郎は、日本初の物理学教授として東大・九大・京大の総長を歴任。更に、安川敬一郎の工業教育の向上という熱意に応じて明治専門学校(現・九州工業大学)の総裁となり、北九州においてその基礎を築いた。

会津藩に生まれ、米国留学から帰るまで

幕末の会津に生まれ15歳で白虎隊士となるが年少のため除隊。会津戦争に敗れ謹慎中に越後に脱出。選ばれて米国イェール大学へ留学し苦学しながら物理学を学び、帰国するまでを紹介。

日本における理工教育の開拓者としての活動

帰国後は東京開成学校でただ一人の日本人教師として教え、1879年に日本人初めての物理学教授。物理学術用語書、X線実験など基礎と応用を重視した。教育にも熱心で、教え子は世界的に有名になり、さらにその弟子たちにより学問と学者の流れが受け継がれていったことを紹介。

山川が理想を実現しようとした明専・九大での教育

1901年に第二代東京帝国大学総長に就任、しかし七博士事件の責任を取って辞職。炭鉱王、安川敬一郎の高度な技術者養成専門学校の熱意に応じて、1907年明治専門学校の総裁に就任、二年後に開校。1911年には九州帝国大学初代総長にも就任、理想の工学教育を目指したことを紹介。

教育界最高の知性としての晩年、そして会津への想い

1913年請われて再び東京帝国大学総長に就任、翌年には東京宮学問所評議員、また京都帝国大学総長も兼務。東大総長退任後も教育界最高の重鎮として活躍、また武蔵高校(現武蔵大学)校長も引き受けた。晩年は逆賊と言われた会津の汚名を雪ぐことにも心血を注いだことなどを紹介。

山川健次郎顕彰会

2003年に明専会東北支部と会津若松市の教育関係者により会津若松に発足、活動を紹介。



イェール大学留学中の
山川健次郎



日本初公開。日本からの留学資金打切り後に、山川健次郎へ資金援助をしたLucy Hall Boardman夫人肖像画

隈本有尚



東京帝国大学理科大学に集う山川健次郎と仲間たち。
1890年(明治23年)頃

菊池大麓

長岡半太郎



大隈重信、明治専門学校に1913年(大正2年11月)来校。写真左からの場中、安川敬一郎、大隈重信(最前)、松本健次郎(大隈の後)、山川健次郎(右端)



藤田哲也

1920年(大正9)～
1998年(平成10)

世界に誇る気象学者“ミスター・トルネード”「藤田哲也」。

藤田哲也は、北九州に生まれ、小倉中学校(現・小倉高校)から明治専門学校を経て渡米し、竜巻の研究の進展を始めとする数多くの成果を上げて、竜巻被害の減少と航空防災に多大な貢献をした。

少年時代

科学が自然の営みの謎を解く上で欠かせないことを習得した過程を紹介。

明治専門学校時代

長崎の原子爆弾の被害調査と、青振山での雷雲の調査。この2つの経験が、後の「ダウンバースト」の発見につながったことを紹介。

米国での研究時代

45年にわたる、実証主義を重んじた研究活動の中で、竜巻の強さの標準であるFスケールの提唱や「ダウンバースト」の発見など、世界を驚かす成果を数多く上げたことを紹介。

藤田博士の研究室再現

シカゴ大学で実験を繰り返し、独自の着想を実証。九工大には現在、博士の膨大な研究資料や機械類が保存されており、今回その一部を公開。

竜巻発生メカニズム

竜巻がどのようにして発生するのか? また、その被害を減らすための方法などを紹介。

藤田博士の偉業

数多くの研究や発見、提唱が気象学上高い評価を得ているに止まらず、自然災害や航空機事故から人々を守ることに大きな貢献があったことを紹介。

藤田哲也博士記念会

博士の偉大な功績を後世に伝えるために行ってきたさまざまな活動を紹介。



長崎への原子爆弾投下後の1945年8月20～24日に明治専門学校(現・九工大)調査団の一員として参加した藤田助教の撮影写真。倒壊しなかった建築物として注目



1975年のジョン・F・ケネディ空港航空機墜落の事故当時の気象写真



1979年に送付されてきた竜巻の写真が、1971年に藤田博士が提唱した子竜巻の存在を証明



1989年フランス航空宇宙アカデミー金メダル授賞式出席のために、コンコルドで特別招待(操縦室での藤田博士)



藤田博士が作成したF4, F5の竜巻の脅威をアピールするポスター



藤田博士が設計しシカゴ大研究室で製造したアニメーション化のための16ミリカメラシステム。このほか、藤田博士が研究のために独自製作したマシンを7点展示



藤田博士直筆のサインと竜巻のイラスト

特別企画展関連イベント 事前申し込み要:無料

9.27(土)

オープニング記念講演会

14:30～16:00 中村政雄氏(科学ジャーナリスト、九州工業大学OB)

9.28(日)

「山川健次郎を語る会」講演と座談会

13:30～16:00 基調講演:松尾宗次氏(内閣官房世界遺産有識者会議委員、元八幡製鐵)
招待講演:山川健次郎顕彰会会員
座談会:山川健次郎ご子孫、山内経則氏(西日本工業大学教授、明専会理事)

10.13(祝)

13:30～16:00

藤田哲也博士記念・気象講演会

土屋清氏(千葉大学名誉教授)
新野宏氏(東京大学大気海洋研究所所長、日本気象学会理事長)
森さやか氏(NHK国際放送局気象キャスター)

10.19(日)

13:30～16:00

「藤田哲也先生を語る会」講演と座談会

中村弘氏(藤田哲也教え子、旧制小倉中学校OB)
上田恒夫氏(元JALパイロット、元シカゴ大学特別研究員)
井上哲秀氏(小倉高校教諭)
橋本昭雄氏(藤田哲也博士記念会事務局長)

今回の特別企画展を記念して、企画展示できなかった情報や縁のある方々の寄稿も収録した図録を館内で販売いたします。

交通アクセス

【電車をご利用の場合】

JR小倉駅から鹿児島本線快速にて約10分、「スペースワールド駅」下車、徒歩5分。

【飛行機をご利用の場合】

北九州空港より小倉駅経由のバスにて約40分、「小倉駅バスターミナル」下車。

その後、JR小倉駅から鹿児島本線快速にて約10分、

「スペースワールド駅」下車、徒歩5分。

お車で越しの際は、いのちのたび博物館前の共同駐車場をご利用ください。

北九州イノベーションギャラリー 産業技術保存継承センター
福岡県北九州市八幡東区東2-2-11 tel:093-663-5411 fax:093-663-5422

